

新入社員歓迎のご挨拶
～地道に辛抱強く、仕事の世界にウルトラCは無い～

令和2年4月1日
代表取締役社長 木内久雄

(はじめに)

新型コロナウイルス感染拡大に伴って、東京五輪の延期決定や集会等自粛などの暗いニュースが多い中、今年もこの春に高校を卒業された新人をお迎えできることをとても嬉しく思います。入社を心から歓迎致したいと思います。

新型コロナウイルス感染に関しましては、我社に於きましては当初予定しておりましたオリンピック競技施設の通信敷設工事が延期になるなどの影響がございましたが、幸いにも現時点においては経営上の影響は少なく、逆にテレワークの推奨やIT技術を活用してのビジネススタイルが進展していることにより、在宅等に於ける通信環境の整備が急務となっており通信インフラ需要は一時的なものでありますが予想より旺盛なものとなってきております。只、新型コロナウイルス感染拡大は日々深刻になってきており、通信インフラ構築を担うという社会的責務と、働く一人ひとりの健康と安全をしっかりと確保していくというもう一つの責務を両立していく必要があります、我社に於きましては、油断することなく社会の一員としてしっかりと振る舞って参りたいと思っております。

(新しい時代へ、そしてその中心を担うこと)

さて、我々の事業領域であります通信インフラ市場であります、これから大きな社会イノベーションが起きるであろうという時代がいよいよスタートするものと認識しています。キーワードで言うならば5G、IoT、AIといったものであり、それらによって予想される未来は私たちの生活を一変させるものであり、わくわくするものばかりです。通信技術が社会革命の中心に位置する時代に突入するといっても過言ではありません。今年入社される社員は正にその入り口に立ち扉を開く役割を担うということが期待されているわけで、羨ましい限りです。私たちは通信機器を開発製造しているわけでも無く、スマホで使うアプリを開発しているわけでもありません。しかしあらゆる通信機器もソフトウェアも安全で信頼性ある通信ネットワークがあってこそ成り立つものです。例えるならばいくら高性能のスーパーカーでも整備された道路網が無ければその性能は発揮できませんね。情報通信産業の発展・進歩と共に私たちの生活は確実に豊かで快適なものになってきました。しかしそれを陰で支えてきたものは通信インフラであり、その一翼を担うものとして自信と誇りを抱いて仕事をして頂きたいと思っております。

(新人にお伝えしたい事)

いつも同じことをお願いしております。それは「仕事や経営にウルトラCや特効薬は無い」ということです。どんなに華々しく見えるものも実はその裏で大変な時間と努力の積み重ねがあるということです。面倒で退屈と思えることの地道な繰り返しの中から飛躍という突然変異が起きるということを、憶えておいて欲しいと思います。社会人としての人生はこれから40年以上あります。「日々の微差が大差につながる」と思い一日一日を過ごして頂きたいと思います。

(最後に)

新卒採用は今から5年前の10周年記念事業の一つとしてスタートしてその後も継続的に取り組んで参りました。新卒採用に関する知見も無い中、手探りでの活動でありましたが今では遠方地域からの学生を迎える寮も整い、又多くの失敗や経験から学んだことによる当社独自の育成研修システムも形になって参りました。新卒社員を迎え入れる体制は万全です。これから共に充実した社会人人生を歩んで参りましょう。本日はおめでとうございます。

以上

